



Kawai Musical Instruments Manufacturing Co., Ltd.
Environmental and Social Report 2018

環境社会報告書

2018



KAWAI
もっと伝えたい、感動を。

次世代ピアニストの発掘



Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールは、1967年から小・中学生を対象に音楽コンクールを開催してきた当社が、次世代を担うピアニストの発掘・育成、国際交流の推進、ならびに世界の音楽文化の振興を目的として、16歳～26歳を対象に創設いたしました。

近年多くの著名コンクールで公式ピアノとして活躍する、Shigeru Kawai グランドピアノの名を冠した当コンクールですが、2017年開催の記念すべき第1回では、世界25の国と地域から351名という多くの方にご出場いただき、栄えある第1位には第9回浜松国際ピアノコンクールで奨励賞を受賞した三浦謙司さんが輝きました。

初回から大きな反響を得た当コンクールは、2018年3月より第2回目の開催を迎えております。8月には、厳しい審査を通過した57名が東京に集結し、1次予選、セミファイナル、ファイナルと審査を進めて参ります。

世界を目指すピアニストの試金石となり、コンクールを通じて数多くの素晴らしい才能が巣立っていくことを願っています。

編集方針

内 容

カワイグループにおける環境活動側面に加え2003年度からはコンプライアンス等社会的側面を掲載し、企業における社会的責任の視点を充実させ2004年度版からタイトルも「環境報告書」から「環境社会報告書」に変更いたしました。

なお、経済側面につきましては、概要を5ページに記載しました。

カワイグループの事業内容の詳細はウェブサイトをご参照願います。

対 象

お客様、お取引先、従業員、株主・投資家、地元住民・NGO、行政・国際機関など多様なステークホルダーの皆様を対象としています。

2018年版について

出来得る限り各項目ごとに方針（ポリシー）を記述し、皆様にカワイグループの取り組みをわかりやすく伝えるように努めました。

事業活動にともなう環境配慮につきまして環境側面ごとにまとめました。また、関連資料は資料編にまとめました。

報告対象期間

2017年度（2017年4月～2018年3月）を主体としていますが、一部重要な事項につきましては2018年4月以降の最新情報を含んでいます。

集計方法の見直しなどにより既報データを一部修正し掲載した項目・数値があります。

報告対象組織

- ・(株) 河合楽器製作所 本社 / 竜洋工場
- ・カワイ精密金属(株)
- ・(株) カワイキャストイング
- ・(株) カワイハイパーウッド
- ・(株) カワイ音響システム

目 次

はじめに

トップメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

企業概要

カワイグループの事業と会社の概要・・・・・・・・・・・・ 5

経営の理念・行動指針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

カワイグループのあゆみ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

音楽を通じた支援活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

環境報告

カワイの環境への取り組み

地球環境憲章 / 環境方針 / 環境推進組織・・・・・・・・・・ 9

環境経営

2017年度の環境目標と実績・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

事業活動に伴う環境配慮

地球温暖化の防止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

竜洋工場 緑化優良工場等関東経済産業局長賞を受賞・・ 12

廃棄物削減・再資源化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

グリーン調達・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

環境配慮型製品

環境に配慮したピアノ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

環境に配慮したデジタルピアノ・・・・・・・・・・・・ 16

環境パフォーマンス

マテリアルバランス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

社会性報告

コーポレート・ガバナンス／コンプライアンス・・・・・・・・ 18

コーポレート・ガバナンス 体制/内部統制システム・・ 19

リスク管理体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

みなさまとの関係

文化貢献活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

教育事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

カワイ健康づくりシステム・・・・・・・・・・・・・・ 25

スポーツコミュニティ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

コミュニケーション

地域社会との共生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

地域社会との交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

資料編

環境負荷サイト別一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

第三者意見

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

本誌は、Web 上でもご覧いただけます。
URL = <http://www.kawai.co.jp/csr/>

トップメッセージ



代表取締役会長兼社長

河合弘隆

中期経営計画 "Resonate 2018" への取り組み

2016年にスタートした新中期経営計画"Resonate 2018" (2016年度～2018年度)は、今年で3年目の最終年を迎えました。"Resonate 2018"では100年ブランドとしての企業価値向上を推進し、長期的な安定成長の実現を目指してまいりました。

特に重要市場である中国においては生産・販売・教育・資本関係を含めて着実な成長を目指します。また、欧米市場の成熟化により自社店舗展開の必要性が出てきたため、アメリカではヒューストン、ダラスに、欧州ではドイツのハンブルクに直営店を新たに開設しました。

また、昨年10月には資本業務提携をしたオンキヨー(株)との共同開発によるハイブリッドデジタルピアノ「NOVUS NV 10」、「CAシリーズ」は、カワイのピアノ技術とオンキヨーのハイクラスオーディオ技術の融合によるシナジーの新たな成果物となり、成長へのドライバーの一つとなっています。

2018年を「100周年に向けた新たな一歩」と位置づけ、これまでの活動の総仕上げをするとともに、100年を見据え次の時代への準備を柔軟に、かつスピーディーに行ってまいります。

※Resonate(レゾネイト)は「鳴り響く・響き渡る」「共鳴する」という意味

人材の発掘と育成

2017年8月には次世代を担うピアニストの発掘と育成を目的として「第1回 Shigeru Kawai国際ピアノコンクール」を開催いたしました。カワイのトップブランドであり、近年多くの著名コンクールで公式ピアノに採用されているShigeru Kawaiの名を冠したコンクールには初回にもかかわらず、国内から179名、海外から172名の非常にレベルの高いピアニストの皆様にご参加いただきました。ファイナル入賞者にはカワイ主催のコンサートへの出演等を通じて、今後の演奏活動の支援をさせていただきます。本コンクールが、世界を目指す若手ピアニストの登竜門となり、多くの才能が巣立っていくことを心より祈念しています。

また、めまぐるしく移り変わる世界情勢に対応していくためには、若い新しい発想とエネルギーが必要不可欠です。中国においては当社の長年培ったノウハウを活かして、調律技術指導者の育成に取り組み、さらに、中国および東南アジア地域ではカワイ音楽教育システムの普及に向けた人材育成にも取り組んでまいりました。今後も引き続き、世界を意識して、これからのカワイを担う、後継者となる人材を育成するとともに、女性の活躍推進についても真剣に取り組んでまいります。



第2回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール
(2018年8月4日～12日 東京)



インドネシア マングローブ林植樹
(カラワン県 CIKIONG)

環境への取組み

多くの企業が、地球温暖化、エネルギー・資源問題などの地球規模の課題に直面するなか、カワイグループは限りある資源を有効に活用することが大事な責務と認識し、持続可能な社会の実現、地球環境の保全にむけて積極的に取り組んでまいりました。

2017年11月には、グランドピアノの主力工場である竜洋工場が環境に配慮した工場として「緑化優良工場等関東経済産業局長賞」を受賞しました。竣工以来38年間、工場緑化とともに工場内外の環境整備、地域団体が行う植樹等への参加など、地域社会との交流にも積極的に取り組んできた成果が認められました。現在、多種多様な樹種で構成された高木の樹林が工場の建物を取り囲み、同工場の目指す「森の中の緑の工房」を体現しています。

創立80周年記念事業の一つとして2007年から開始したカワイの森育成会によるインドネシアでの「カワイの森」植林活動はインドネシア現地法人とインドネシア森林公社との連携の下、2017年に第2期植林が完成し、これまでに500ha、約50万本の植林を実施しました。2017年からは、インドネシアにおいて急速に減少してきたマングローブ林の再生のための植林活動をスタートしました。今後も、海岸浸食の防止、水害防止のための自然の防波堤としてマングローブ林の再生活動を進めてまいります。

夢を受け継ぎ、100年ブランドへ

音楽は私たちにたくさんの感動を与えてくれます。美しい音楽を耳にしたときの感動、初めてピアノを手にしたときの喜び、弾けなかった曲が弾けるようになったときの満足感など、希望にあふれ生き生きとしたシーンと感動を世界中の人々とともに分かち合いたい。創業以来、当社はそうした願いを変わることなく持ち続け、楽器づくりに取り組んでまいりました。

「世界一のピアノをつくりたい」という創業者河合小市の熱い思いは、大切に受け継がれ、歴史を重ねるなかで「KAWAI」ブランドは、世界中の音楽愛好者から揺るぎない信頼を獲得するまでに至りました。

いまや、カワイグループは楽器づくりにとどまらず音楽や体育の教育事業、素材加工事業など、様々な分野で新しい感動を生み続け、2017年には創立90周年を迎えることができました。

これからも「感動」という気持ちを大切に、人から人へ、思いから思いへ、脈々と受け継がれた技術の継承とたゆまぬ進歩に誇りをもち、100年ブランドをめざしてさらに挑戦を続けてまいります。

カワイグループの環境・社会的側面の活動を本報告書にまとめました。是非ご一読いただき、弊社の考え方や活動にご理解をいただき、ご支援と忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

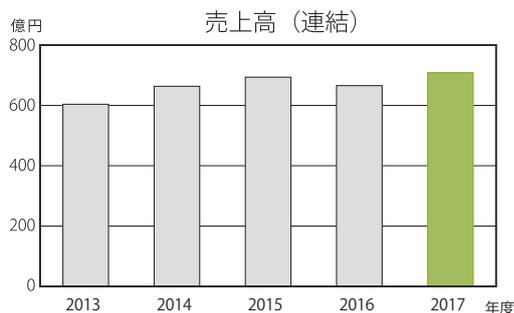
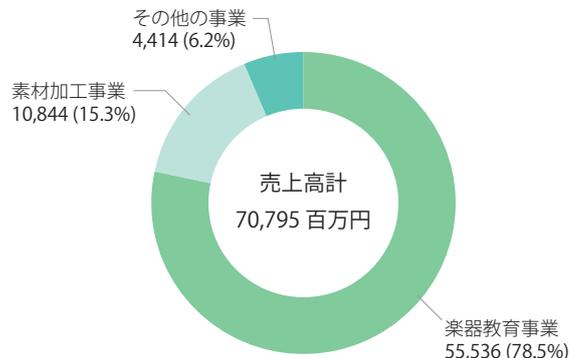
企業概要

カワイグループの事業と会社の概要

社名	株式会社河合楽器製作所
本社	静岡県浜松市中区寺島町200番地
創立	1927年（昭和2年）8月9日
設立	1951年（昭和26年）5月15日
代表者	代表取締役会長兼社長 河合弘隆
資本金	7,122,881千円（2018年3月末現在）

年度		2015	2016	2017
売上高 （百万円）	単独	49,654	48,095	50,197
	連結	69,258	66,548	70,795
従業員数 （名）	単独	1,340	1,293	1,291
	連結	2,868	2,833	2,837

事業セグメント別の売り上げ構成（2017年度連結）
単位：百万円



カワイグループの主な事業

楽器教育事業

ピアノ、電子楽器、管・弦・打楽器、楽器付属品、楽器玩具の販売及び楽器調律・修理の役務提供業務
音楽教室・体育教室の運営、教材販売、楽譜・音楽教育用ソフトの製造及び販売

- 国内での販売
 - (株)河合楽器製作所
 - (株)全音楽譜出版社 他
- 海外での販売
 - カワイアメリカコーポレーション
 - カワイヨーロッパ GmbH
 - カワイカナダミュージック Ltd.
 - カワイオーストラリア PTY.Ltd.
 - PT. カワイミュージックインドネシア
 - 河合楽器（中国）有限公司
 - 河合貿易（上海）有限公司
 - カワイ UK Ltd.
 - カワイフランス SASU
 - カワイピアノ・ロシア
 - 海外販売代理店及び商社
- 楽器の調律・修理
 - (株)河合楽器製作所 国内統括部
- 楽器の国内での製造
 - (株)河合楽器製作所 竜洋工場
 - (株)全音楽譜出版社
- 楽器の海外での製造
 - PT. カワイインドネシア
 - 河合楽器（寧波）有限公司、上海カワイ電子有限公司
- 国内での教育関連
 - (株)河合楽器製作所
 - (株)全音楽譜出版社
- 海外での教育関連
 - PT. カワイミュージックスクールインドネシア
- その他
 - (株)カワイ友の会

素材加工事業

電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、銑鉄物の製造及び販売、防音室・音響部材の製造及び販売

- 金属異形圧延加工品の製造 カワイ精密金属(株)
- 自動車部品用材料の製造 (株)カワイハイパーウッド
- 銑鉄物の製造及び販売 (株)カワイキャスティング
- 防音室・音響部材の製造及び販売 (株)カワイ音響システム

その他

- 情報関連事業、金融関連事業、保険代理店事業 他
 - (株)カワイビジネスソフトウェア
 - (株)カワイアシスト
 - (株)カワイ旅行センター



経営の理念・行動指針

創業以来、私たちはより良い楽器作りと音楽文化への貢献を目的として企業活動を続けてまいりました。社会や産業の構造が大きく変化し続ける現在において、より幅広く人々の生活文化に貢献してゆくために、カワイは下に記します経営理念及び行動指針に則り、企業活動を推進してまいります。

経営の理念・行動指針

経営の基本的な考え方と方向性

カワイの原点は音楽…

社会貢献

顧客志向性…

企業倫理

新しい時代への対応…

持続社会

闊達な企業風土の創造…

社会的責任

創業以来私たちはより良い楽器作りと音楽文化への貢献を目的として企業活動を続けてきた。

社会や産業の構造が大きく変化する中で、私たちがより幅広く人々の生活文化に貢献してゆくため、また新時代にむけて新しいカワイを創生させるため、ここに新経営の理念を制定するものである。

経営の理念

創造性豊かな好感度企業を目指して

快適で豊かな生活環境を創造します
お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します
新しい時代に向かって企業活動を推進します
社員を大切にし、明るい企業をめざします

行動指針

現状に満足せず、常に開拓者精神に燃えて

失敗を恐れずアグレッシブに行動しよう
常に向上心を持ち自己研鑽に励もう
豊かな創造性を発揮し、変化する時代に挑戦しよう
自然との共生を大切にし、社会に役立つ活動を積極的に行おう
音楽文化の担い手として、自信と誇りを持って行動しよう

KAWAI

1996年 4月 1日制定

カワイグループ全体の活動の根底をなすもの

積極果敢

自己の向上

挑 戦

地球環境保護活動

継 続

カワイグループのあゆみ

事業沿革

- 1927 河合小市 河合楽器研究所を創立 ピアノの製造・販売を開始
- 1929 河合楽器製作所と改称
- 1935 合名会社河合楽器製作所と改組
- 1951 株式会社河合楽器製作所と改組
- 1955 河合滋 社長に就任
- 1956 カワイ音楽教室を創設
- 1961 ピアノ組立工場として舞阪工場完成
- 1963 アメリカにカワイアメリカコーポレーションを設立
- 1966 カワイ音楽教室中央講師養成所（カワイ音楽学園）を創設
- 1967 カワイ体育教室を創設
- 1976 西ドイツにカワイドイチュランド GmbH を設立
- 1979 西ドイツにカワイヨーロッパ GmbH を設立
- 1980 金属圧延加工のカワイ精密金属㈱を設立
グランドピアノ専門工場として竜洋工場完成
- 1981 オーストラリアにカワイオーストラリア PTY.Ltd. 設立
- 1984 ㈱カワイビジネスソフトウェア設立
- 1988 アメリカにメディミュージックセンター Inc. を設立
- 1989 河合弘隆 社長に就任
- 1991 マレーシアにカワイアジアマニュファクチャリング SDN.BHD を設立
- 1996 新経営の理念、行動指針制定
- 1997 カワイ精密金属㈱ 浜松事業所 ISO9002 認証取得
- 1998 ㈱カワイハイパーウッド設立
- 1999 最高級グランドピアノ「Shigeru Kawai シリーズ」発売
- 2001 インドネシアに PT. カワイインドネシアを設立
最高級フルコンサートピアノ「SK-EX」完成
- 2002 中国に河合貿易（上海）有限公司を設立
カワイ倫理規範、倫理行動規程制定
- 2003 カワイ精密金属㈱ 浜松事業所 ISO9001 認証取得
- 2004 カワイ精密金属㈱ ISO9001 認証を全社に拡大
中国に河合楽器（寧波）有限公司を設立
- 2005 竜洋工場 ISO9001 認証取得
- 2006 アコースティックピアノの塗装を行う PT. カワイインドネシア第2工場設置
旗艦店「カワイ表参道」リニューアルオープン
- 2007 電子楽器組立を行う PT. カワイインドネシア第3工場設置
中国上海市内にカワイ音楽教室第1号教室開設
- 2008 河合楽器（寧波）有限公司 ISO9001 認証取得
PT. カワイインドネシア第3工場 ISO9001 認証取得
- 2009 国内ピアノ生産工程を竜洋工場に統合
PT. カワイインドネシア第1・第2工場 ISO9001 認証取得
カワイ精密金属㈱ 浜松工場の建物増設
- 2011 インドネシアに PT. カワイミュージックインドネシアを設立
- 2012 最高級グランドピアノ「Shigeru Kawai シリーズ」モデルチェンジ
フルコンサートグランドピアノ「EX-L」発売
中国に上海カワイ電子有限公司を設立
石川県羽咋市に㈱カワイキャスティング設立
- 2013 グランドピアノ GX シリーズ発売
- 2014 アップライトピアノ新 K シリーズ発売 ㈱全音楽譜出版社を子会社化
ロシア モスクワ市にカワイピアノ・ロシアを設立
- 2015 ㈱学研ホールディングスと業務提携
米国テキサス州ヒューストンに海外直営ショップ第1号店をオープン
- 2016 中国楽器業界と「ピアノ調律事業に関する基本合意」を締結
- 2017 第1回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール開催
米国テキサス州ダラスに海外直営ショップ第2号店をオープン
フランス パリにカワイフランス SASU 設立
- 2018 ドイツ ハンブルグに海外直営ショップ第3号店をオープン

1920

1950

1970

1980

1990

2000

2010

公害防止

環境保全

環境経営

環境社会活動

- 1975 生産技術部内に公害課設置 カワイの環境元年
- 1978 生産本部 環境管理課に改めグループ全体の管理をスタート
- 1980 『森の中の緑の工房』竜洋工場完成
- 1994 地球環境憲章制定 シンボルマーク決定
全社的な推進組織の地球環境委員会発足
- 1996 環境推進室に名称変更
- 1997 竜洋工場で ISO14001 認証取得 楽器業界で世界初
舞阪工場「静岡県労働基準局長 優良賞」受賞
- 1998 舞阪工場で ISO14001 認証取得
竜洋工場「エネルギー管理優良工場」として中部通商産業局長表彰
- 2001 タイプIII 環境ラベル「製品環境宣言」JEMAI 開示
舞阪工場「危険物優良事業所」表彰
- 2003 工場統廃合によるインフラの整備
木屑ボイラーの廃止
- 2005 竜洋工場が緑化優良工場として日本緑化センター会長奨励賞 受賞
- 2006 河合楽器が静岡県緑化推進協会から「緑の募金」の感謝状
木材調達ガイドラインの開示
- 2007 ㈱カワイハイパーウッドでエコアクション 21 認証取得
「カワイの森」インドネシア植林事業開始
- 2008 産業廃棄物適正処理推進功労者に対する静岡県知事褒賞 受賞
- 2010 メルヘン楽器㈱でエコアクション 21 認証取得
河合弘隆社長ポーランド共和国コマンドール十字勲章授与
- 2011 PT. カワイインドネシア第1・第2工場 ISO14001 認証取得
CS 環境室に名称変更
- 2012 カワイ精密金属㈱でエコアクション 21 認証取得
河合楽器（寧波）有限公司で ISO14001 認証取得
- 2013 JR 浜松駅前看板を LED 方式による、カーボンオフセットサイン
として 25 年振りに一新
はままつ広告景観賞かんばん部門受賞
「カワイの森」インドネシア植林第2期植林活動開始（2013～2017）
- 2015 カワイ精密金属㈱で ISO14001 認証取得
東北復興支援「カワイの森」東松島市で植樹活動開始（2015～）
浜松市防潮堤植栽活動開始（2015～）
- 2016 カワイハイパーウッドで ISO14001 認証取得
- 2017 カワイ音響システムで ISO14001 自己適合宣言
竜洋工場が緑化優良工場として経済産業省より
「緑化優良工場等関東経済産業局長賞」受賞

音楽を通じた支援活動

カワイグループでは、ピアノメーカーとして音楽を通じて、さまざまな支援活動に継続的に取り組んでいます。

東北への継続的支援活動

東日本大震災復興支援チャリティーコンサート 2018

2018年3月11日に、仙台・東京・横浜・名古屋・大阪の5会場で、『東日本大震災復興支援チャリティーコンサート』が開催されました。大震災から7年がたちましたが、カワイグループでは、音楽を通じて支援活動を継続しています。当初はピアノを東北に寄贈していましたが、現在では宮城県沿岸部での海岸防災林植樹活動を支援しています。

今年もそれぞれのコンサート会場で、第一線で活躍されているピアニストの方々にご協力をいただき、大盛況にチャリティーコンサートを開催することができました。それぞれの会場ではチャリティー募金も実施されコンサート収益金と合わせてカワイの森育成会に寄付されました。寄付されたお金につきましては、今年も5月に仙台エリアの海岸防災林植樹支援で「カワイの森」植樹活動のために使用させていただきました。



被災地の海岸防災林再生支援のための「カワイの森」植樹活動

2018年5月12日（土）宮城県仙台市荒浜北地区での植樹

カワイの森育成会では、3年前より東日本大震災の津波により流失した海岸防災林の再生を目指す林野庁の「『みどりのきずな』再生プロジェクト」に参加してきました。東北森林管理局と協定を結んで海岸防災林の再生植樹から保育までを継続して取り組んでいますが、本年度はJR仙台駅の東方海岸沿いにある荒浜北地区で、宮城県緑化推進委員会と協力をして、宮城県森林インストラクター協会の指導の下、海岸防災林の再生支援として「カワイの森」植樹を実施しました。

植樹当日には、宮城県内のカワイ音楽教室・カワイ体育教室の生徒の皆さまと保護者の方々、仙台ショップ及び教室の講師の皆さま、緑化推進委員会、森林インストラクター協会の皆さま、総勢74名で約320本の抵抗性クロマツの苗を植樹しました。天候にも恵まれ楽しく実施することができました。植樹終了後は、一昨年より開始したクラフト教室も開催し、木のぬくもりにも触れていただき有意義な時間を過ごすことができました。引き続き樹木の生長を見守っていきます。



環境報告

カワイの環境への取り組み

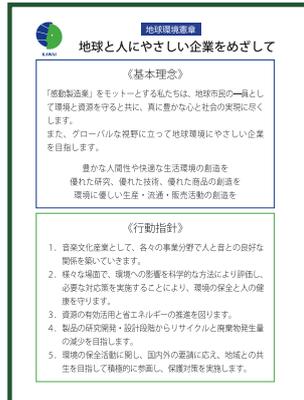
カワイ地球環境憲章に定める基本理念と行動指針に基づいて 環境保全活動を展開しています

地球環境憲章 / 環境方針 / 環境推進組織

地球環境憲章

カワイグループは、すばらしい地球環境を後世に伝えるためには、総合的かつ継続的な取り組みが必要であると認識しています。

世界の良き企業市民として環境の保全に努めつつ、人と地球にやさしい優れた商品を通じて社会からの信頼と共感を得ることができる道を進むために「地球環境憲章」を1994年に制定しました。



環境方針

カワイ地球環境委員会では「地球環境憲章」を受け「環境方針」を制定しています。

《有益な環境側面の発掘》《地球温暖化防止》《資源循環活用》《資源有効活用》《グリーン調達》等の推進に全社一丸 となって邁進しています。

詳細はウェブサイトをご覧ください。



http://www2.kawai.co.jp/company/activity/pdf/kp_20040127.pdf

環境推進組織

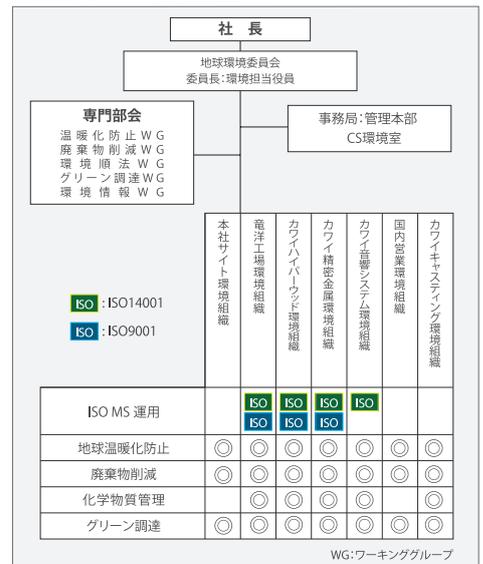
環境経営を推進する組織として、1994年に環境担当役員を委員長とする地球環境委員会を設置し、環境保全に関する全社環境方針や目標を設定し活動しています。毎年環境月間の6月を中心に各サイトの昨年度実績及び当年度の目標を報告する全体会議を開催しております。

環境監査

カワイでは、環境マネジメントシステムで要求されている継続的改善のPDCA サイクル(計画・実行・検証・対応の繰り返し)をまわすため、定期的に「外部審査」「内部環境監査」を実施しています。

外部審査

認証取得サイトでは、認証機関による毎年のサーベイランス審査および定期毎の更新審査において、環境マネジメントシステムが有効に機能していることの審査を受けています。



環境マネジメントシステム

2017年3月25日カワイ音響システムISO14001自己適合宣言

カワイグループでは国内事業所は元より海外事業所も含めてISO取得を促進してまいりましたが、カワイ音響システムでは、その施策のもと、ISO14001自己適合宣言を実施いたしました。従来より環境負荷データなどは集計しておりましたが、さらに一層環境負荷の見える化を促進してまいります。



環境経営

CO₂ 排出量・廃棄物排出量の削減に取り組んでいます

2017 年度の環境目標と実績

2017年度の環境目標

地球環境委員会では地球環境憲章とカワイ環境方針のもと地球温暖化の防止や資源の有効活用という目的のためにCO₂排出量及び廃棄物量を指標とした環境負荷の低減に取り組んでおり、2016年度に定めた3か年計画（2016～2018年度）の目標達成に向けて活動を展開してまいりました。

この3ヶ年計画における環境目標は、CO₂排出量と廃棄物排出量について、2015年度を基準年として、売上高原単位で毎年1%削減することと設定し、2017年度は2015年度比-2%を達成できるように活動してまいりました。

環境目標（2016年度～2018年度）		基準年：2015年度
地球温暖化の防止	CO ₂ 排出量	毎年1%削減（原単位）
資源の循環活用	廃棄物排出量	毎年1%削減（原単位）

2017年度の実績

各事業所の環境組織では、「生産効率の向上」「不良率の低減」「資源の有効活用」などを掲げて環境目標達成に向けて環境マネジメントシステムの推進に取り組んでまいりました。

2017年度の実績はCO₂排出量原単位で2015年度比-1.8%、廃棄物排出量原単位で2015年度比-14.2%となり、CO₂排出量原単位は僅かに目標に届きませんでしたが、廃棄物については、目標を達成できました。

指標	年度					増減	評価	
	2013	2014	2015 (基準年)	2016	2017			
地球温暖化防止	CO ₂ 排出量原単位 (kg-CO ₂ /百万円)	375	337	314	338	308	-1.8%	×
	エネルギー量原単位 (MJ/百万円)	7,356	6,666	6,238	6,643	6,135	-1.7%	×
資源有効活用	廃棄物排出量(総量) (ton)	2,550	2,399	2,252	2,242	1,976	-12.3%	◎
	廃棄物排出量原単位 (kg/百万円)	42	36	33	34	28	-14.2%	◎

評価 ◎：達成 ×：未達成

環境経営指標

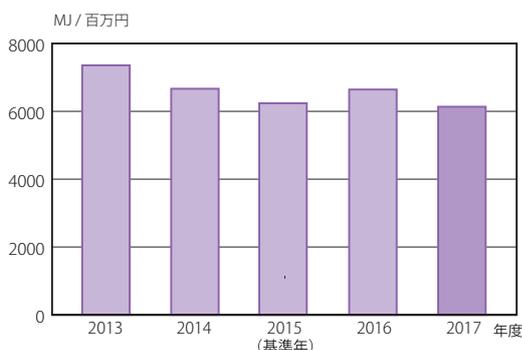
エネルギー使用量につきましては、2010年度から国内生産拠点に加えて全ての国内営業所・音楽教室を含め、2012年度からはカワイグループとなった(株)カワイキャスティングを含めて集計し、原単位を算出しております。

エネルギー使用量原単位は(株)カワイキャスティングの大幅な生産増加にともなって増加した2016年度を除き、年々減少傾向を示しています。2017年度は各事業所における照明のLED化や(株)カワイキャスティングの生産設備の統廃合により過去5年間で最も小さい6,135MJ/百万円でした。

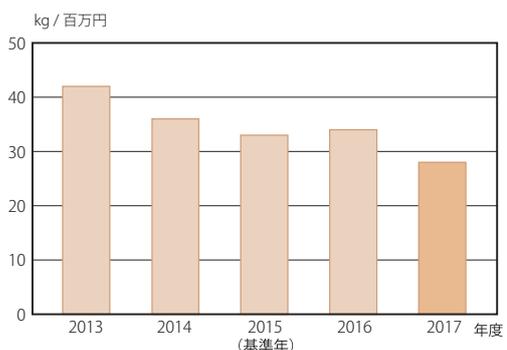
産業廃棄物原単位につきましても(株)カワイキャスティングの大幅な生産増加にともなって増加した2016年度を除き、年々減少傾向を維持し、2017年度は過去5年間で最も小さい、28kg/百万円となりました。これは、竜洋工場での徹底した資源の有効活用、カワイ精密金属(株)の廃棄物の有価物化への取り組み、(株)カワイキャスティングによる効率的な生産活動などの努力によるものです。

今後も廃棄物の削減、資源の有効活用を重点課題として継続して検討を進めてまいります。

エネルギー使用量原単位



産業廃棄物排出量原単位



事業活動にともなう環境配慮

CO₂ 排出量の削減と CO₂ 吸収の取り組み

地球温暖化の防止

地球温暖化防止の取り組み (CO₂ 排出量削減) と省エネ法対応

カワイグループでは地球温暖化の防止を環境経営の重点項目と位置づけ、工場では省エネに配慮した設備の導入、LED照明への更新、電力会社による定期的な省エネ診断、オフィスでは夏期の「ノーネクタイ」「ノー上着」活動、冷房設定温度を上げる「クールビズ」運動、冬期の暖房設定温度を20℃以下に保つ「ウォームビズ」運動を展開し、エネルギー使用によるCO₂の排出量の削減に取り組んでいます。

工場の統廃合や海外進出にともない、生産系事業所のCO₂排出量は大幅に削減された結果、カワイグループ全体の2017年度のCO₂排出量は京都議定書基準年の1990年度に比較すると25.1%削減されています。

省エネ法（「エネルギー使用の合理化等に関する法律」）は、一定以上のエネルギーを使用している会社（「特定事業者」）にエネルギー使用の合理化のためのエネルギー管理を義務づけており、エネルギー使用量の実績報告や中長期の省エネ計画を届け出ることを規定しています。カワイグループでは（株）河合楽器製作所、カワイ精密金属（株）、（株）カワイキャスティングが特定事業者に、ピアノ製造の竜洋工場、鋳鉄铸件製造の（株）カワイキャスティングの2工場が第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。

2017年度は3つの事業所とも省エネ法の事業者クラス分け評価制度で目標を達成した優良事業であるSクラス*の評価を受けました。（*：エネルギー消費原単位または電気需要平準化原単位の5年間平均原単位変化が1%以上の削減という努力目標達成事業者）

現在、多くの生産系事業所でISO14001環境マネジメントシステムを導入しており、今後とも継続的にCO₂排出量、エネルギー使用量の削減に取り組んでまいります。



海外植林活動 インドネシアの「カワイの森」

ピアノをはじめとした楽器には多くの木材や天然素材が使用されています。このため、創業80周年記念事業として2007年にカワイグループ社員の有志により設立されたカワイの森育成会（河合弘隆会長）は、カワイグループの地球環境憲章の基本理念に則り、CO₂の吸収源の確保、樹木が伐採された土地に森林を再生すること、持続可能な木材資源の確保を目指して、インドネシア現地法人とインドネシア森林公社との連携のもと、海外生産拠点のあるインドネシアにおいて植林活動を行なっています。



2017年に第2期植林（2013年度～2017年度）が完成し、第1期（2007年度～2012年度）と合わせて500ha、約50万本の植林を行いました。現在、ほとんどの樹木が元気に成長しており、「カワイの森」により年間7,750ton程のCO₂の吸収効果があると試算しており、カワイグループ全体のCO₂排出量の34%程度を吸収しているものと考えられます。

2018年2月には、これまでのカワイグループ従業員の寄付によるカワイの森育成会の植林活動に対し、インドネシア森林公社本部から感謝状が授与されました。

また、2017年度には、水産養殖等の目的で急速に破壊されたマングローブ林を再生し、生態系の回復や海岸浸食の防止を目的として西ジャワ州カラワン県CIKIONGの海岸約15haに約12,500本のバカウ（Bakau、マングローブ）の植林を行いました。



2014年に植林したチークの生育状況視察
(2017年10月 管理本部・星井副本部長、PT.Kawai Indonesia・Rudi Asep GMg)



インドネシア森林公社から感謝状の授与
(2018年2月、森林公社本部役員と河合弘隆カワイの森育成会会長)

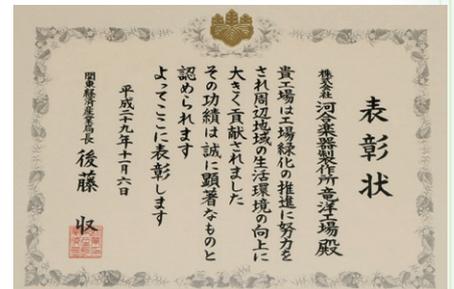


マングローブ林 (Bakau) 植樹
(KAWAI-PerumPerhutaniの標識)
(2017年、カラワン県 CIKIONG)



竜洋工場 緑化優良工場等関東経済産業局長賞を受賞

2017年11月にグランドピアノの主力工場である竜洋工場が緑化を推進し工場内外の環境整備をおこない、また、地域社会との積極的な交流に取り組んできた成果として「緑化優良工場等関東経済産業局長賞」を受賞しました。



緑化推進

竜洋工場の緑地は砂地であった土地に植樹をおこない38年を経て樹林となり、2代目社長河合滋が念願していた「森の中の緑の工房」を体現しています。平成9年に楽器業界では世界で初めてISO14001の認証を取得、平成18年には事業拡大に伴い認証範囲を拡大し総合的な環境マネジメントシステムの中で工場緑化を推進しています。



地域貢献

工場では、磐田市の防潮堤に植える苗木を育てている地元の幼稚園に工場敷地内のどんぐりの実を提供したり、敷地内のグラウンドで小学生向けにサッカー教室を開催する等、地域の交流を図っています。

この他にも、杉の植樹、檜の間伐作業に参加することにより地域の緑づくりにも関わっています。



カワイの森育成会 浜松市秋季市民植栽

静岡県と浜松市は浜松市沿岸域に防潮堤の整備を進めており、整備が完了した一部の区域を活用し植栽をおこなっています。

カワイの森育成会は4年前からこの市民植栽に参加し2017年12月に本社の会員の皆様とご家族により160本のクロマツを植樹しました。



資源循環型社会のための活動を行っています

廃棄物削減・再資源化

廃棄物の削減と再資源化の取り組み

廃棄物について排出量の削減とともに再資源化を図ることが重要な使命と認識して取り組んでいます。

2012年度からカワイグループとなったピアノのフレーム製造の(株)カワイキャスティングから鋳物製造時に生じる鋳さいが産業廃棄物として大量に排出されるためカワイグループ全体の産業廃棄物排出量は大幅に増加しました。

その後、(株)カワイキャスティングは生産ラインの合理化、生産効率の改善に取組み、産業廃棄物排出量は2012年度の2,210tonから2017年度の959tonにまで削減(-57%)しました。その結果、2017年度のカワイグループ全体の産業廃棄物排出量は1,976tonとなり、2012年度比で38%削減することができました。

廃棄物の再資源化率についても当初、再資源率の小さかった(株)カワイキャスティングの影響が大きく、カワイグループ全体の再資源化率は2012年度に悪化しましたが、その後、(株)カワイキャスティングで鋳さいの路盤材などへの再資源としての使用を進めることにより(株)カワイキャスティングの再資源化率が2012年度の39%から2017年度に64%に増加し、カワイグループ全体の再資源化率は2012年度の57%から2017年度には82%に向上しました。

なお、(株)カワイキャスティングを除くカワイグループの産業廃棄物排出量は、2016年度1,038tonに対して2017年度1,018tonとほぼ同程度で推移し、再資源化率は2017年度99.8%で99%以上を継続維持しました。(株)カワイキャスティングに次いで多くの産業廃棄物を排出している竜洋工場では木くず、木粉を製紙原料、ボード原料、堆肥、燃料等に活用し、フェルト屑は堆肥化などに活用することにより再資源化率100%を達成しております。

今後もグループ全体で廃棄物排出量の削減、再資源化率の向上を目指してまいります。

リサイクル・リユースの取り組み

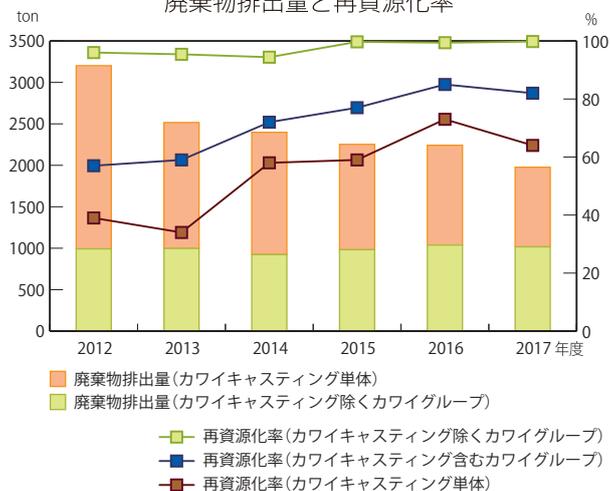
循環型社会形成推進のための拡大生産者責任の考え方を踏まえて、1998年に(株)ピアノリサイクルを設立し(現在は(株)河合楽器製作所に吸収合併)、ピアノの再生と再使用・リユースを推進しています。現在、国内統括部のリサイクル担当グループが竜洋工場内で本事業を担当しています。また、日本国内の営業拠点においても下取りしたピアノを再生し、新たなお客様のもとへお届けしています。

2017年度に国内で約900台のピアノが再生、リユースされました。そのうち、29%は輸出され、世界の各地で使われています。

メーカーによるピアノ再生

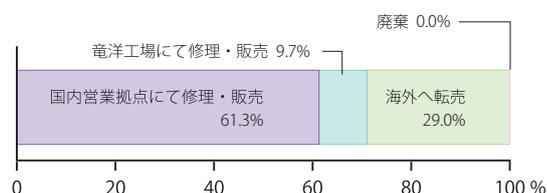
メーカーだからできる仕事があります。ピアノづくりに精通した経験豊かな専任技術者が、古いピアノでも全面オーバーホールすることが可能です。弦・ハンマー・アクションの交換から全面塗装までお客様のニーズに応じたピアノ再生を行っています。再生は、ピアノづくり90年の製造部門で長年の経験を持ち、塗装技術、木工技術、調律技術など、その道の専門家がそれぞれ担当しています。その仕上がりは、多くのお客様から好評をいただいています。また、カワイピアノなら純正パーツによる修理・再生も可能で、大きな魅力となっています。

廃棄物排出量と再資源化率



廃棄物の再利用 (竜洋工場)

下取りしたピアノの再生リユース (2017年)



持続可能な原材料・資源の調達を推進しています

グリーン調達

カワイグループでは必要な資源の調達・購入に際して、カワイ地球環境委員会の定める「環境方針」に基づき、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入する『グリーン調達』にカワイグループ全体で積極的に取り組んでいます。

グリーン購入法やグリーン購入ネットワーク(GPN)の基本原則に準じたグリーン調達を推進し、環境負荷を総合的に低減し、生物多様性の保全や循環型社会構築に積極的かつ継続的に貢献するよう活動しています。

グリーン調達に関しては、このほかに調達基本方針や適用範囲、調達基準ガイドライン等を定めています。また、このガイドラインに基づいて文具類等の調達ガイドラインも別に策定しています。

- ・環境汚染物質への配慮、省資源、省エネルギー
- ・リサイクル可能性、再生材料等の利用
- ・天然資源への配慮、長期使用性、リユース可能性
- ・処理処分の容易性

サプライヤー選定時の配慮事項も次のように定め、購買部門よりお取引先に対し対応をお願いしています。

- ・環境マネジメントシステムを構築し運用していること
- ・梱包材についても環境に配慮していること
- ・省資源、省エネ、化学物質管理、グリーン購入等への取組がなされていること
- ・環境情報を積極的に公開していること



木材の調達

ピアノの心臓部ともいわれる響板には厳選されたアラスカのスプルースが使われます。樹齢150～400年、高さが60mにも達する針葉樹の大木です。ピアノの響板には地上6～20mの部分で木目がまっすぐかつ「ふし」のない部分しか使えません。

高品質で貴重な木材を多く使用する楽器メーカーとして、木材を生み出す森林の保護、育成、保全は特に重要と考え、生物多様性の保全に配慮した木材の調達に取り組んでいます。



スプルース（マツ科トウヒ属）の断面
ピアノ響板に使用、樹齢 250～260 年

木材調達ガイドライン（2006年6月開示）

2006年に持続可能な資源である木材の調達におけるカワイのポリシーを明文化しました。

基本理念

カワイは、木を大切にし、保護・育成された森からの持続可能な資源である木材を、有効活用する、木材のグリーン調達を推進する。

基本方針

1. カワイは、持続可能な森林経営が営まれている森林から産出された木材を優先して調達する。
2. カワイは、木材調達において、森林を保全・保護・再生するという環境対策の推進や順法に配慮する。
3. カワイは、調達した木材の適切かつ効率的な利用を推進する。
4. カワイは、再生材で生産された製品を優先して調達する。
5. カワイは、森林認証林産物を優先して調達する。



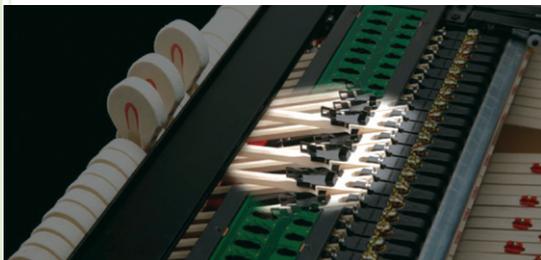
環境配慮型製品

環境に配慮したピアノ

環境配慮型アコースティックピアノ ANYTIME X2 Hybrid

「ANYTIME X」シリーズは、夜間など音を出せないときにデジタル音源に切り替えて演奏を楽しむことができるピアノです。

「ANYTIME X2」はタッチ感を向上させたハンマー検出型センサー「インテグレートッドハンマーセンシングシステム (IHSS)」をはじめ、響板スピーカーシステムやスライド式スイッチパネル、デジタル音源の搭載など、消音ピアノの枠を超えたハイブリッドピアノとしてさらに進化しました。



インテグレートッドハンマーセンシングシステム (IHSS)



響板スピーカーシステム



スライド式スイッチパネル

90周年記念モデル グランドピアノ GX-2NA、アップライトピアノ K-300NA

ピアノは木材を適材適所で有効に活用している優れた環境配慮型製品といえますが、カワイでは物性測定による選別を行うことで、木材の落とし（廃棄）を極力減らし、限りある木材を有効利用する努力を継続しています。当社は昨年、創立90周年を迎え、その記念モデルとしてグランドピアノGX-2NA（黒艶色）とアップライトピアノK-300NA 3機種（黒艶、バーチ、ウォルナット）を限定発売しました。

GX-2NAには華やかで伸びのある音色が好評のイタリア・チレーサ社製の響板と当社特別仕様のハンマーを採用、K-300NAにはファインアイボリー白鍵、ファインエボニー黒鍵を採用することでワンランク上の仕様を実現しています。



イタリア・チレーサ社製
響板の刻印



90周年記念プレート



GX-2NA



K-300NA



K-300NA インテリアバーチ



K-300NA インテリアウォルナット

環境に配慮したデジタルピアノ

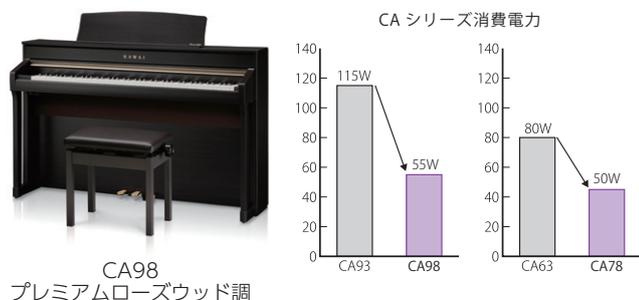
省電力型デジタルピアノ CA・CN シリーズ

当社デジタルピアノの最新モデルは、デジタルアンプの採用など、システム全体を見直すことにより『CA98』では約50%、『CA78』は約40%、『CN37』は約55%、『CN27』は約75%（いずれも当社過去機種比）の省電力化を実現しています。

全モデルには一定時間経過した後に自動で電源がオフされるオートパワーオフ機能を搭載しました。まさに、省エネを実現した環境に優しいデジタルピアノです。

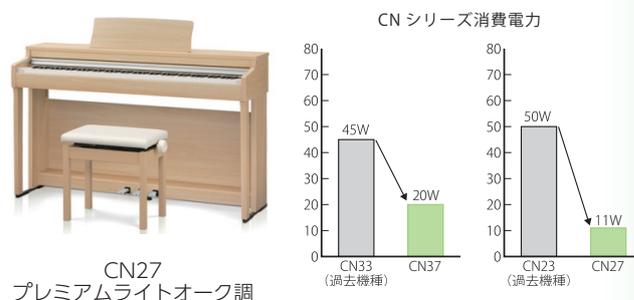
タッチ、サウンド、機能のすべてを極めた デジタルピアノ CA98 / CA78

Concert Artistシリーズはその名のとおり、アーティストが使用するコンサートグランドピアノを目標として開発したカワイエデジタルピアノのトップブランドです。



表現力を大幅に向上したエントリーモデル デジタルピアノ CN37 / CN27

入門者向けのデジタルピアノCNシリーズはピアノとしての充実した基本性能を備えながらもお求めやすい価格を実現しました。



オートパワーオフ機能搭載デジタルピアノ

カワイのデジタルピアノCA98 / CA78 / CA58 / CA48、CN37 / CN27、ES8は動作しない状態が一定時間続いた時に自動で電源がオフされるオートパワーオフ機能を搭載しています。



NOVUS NV10 2017 グッドデザイン賞受賞

2017年10月発売のハイブリッドデジタルピアノNOVUS NV10が2017年度グッドデザイン賞を受賞しました。演奏時のフィーリングに徹底的にこだわった製品企画・デザインが高く評価されました。

このモデルは2015年より資本業務提携しているオンキヨー株式会社と共同開発で進め完成した“新しいハイブリッドデジタルピアノ”です。



環境パフォーマンス

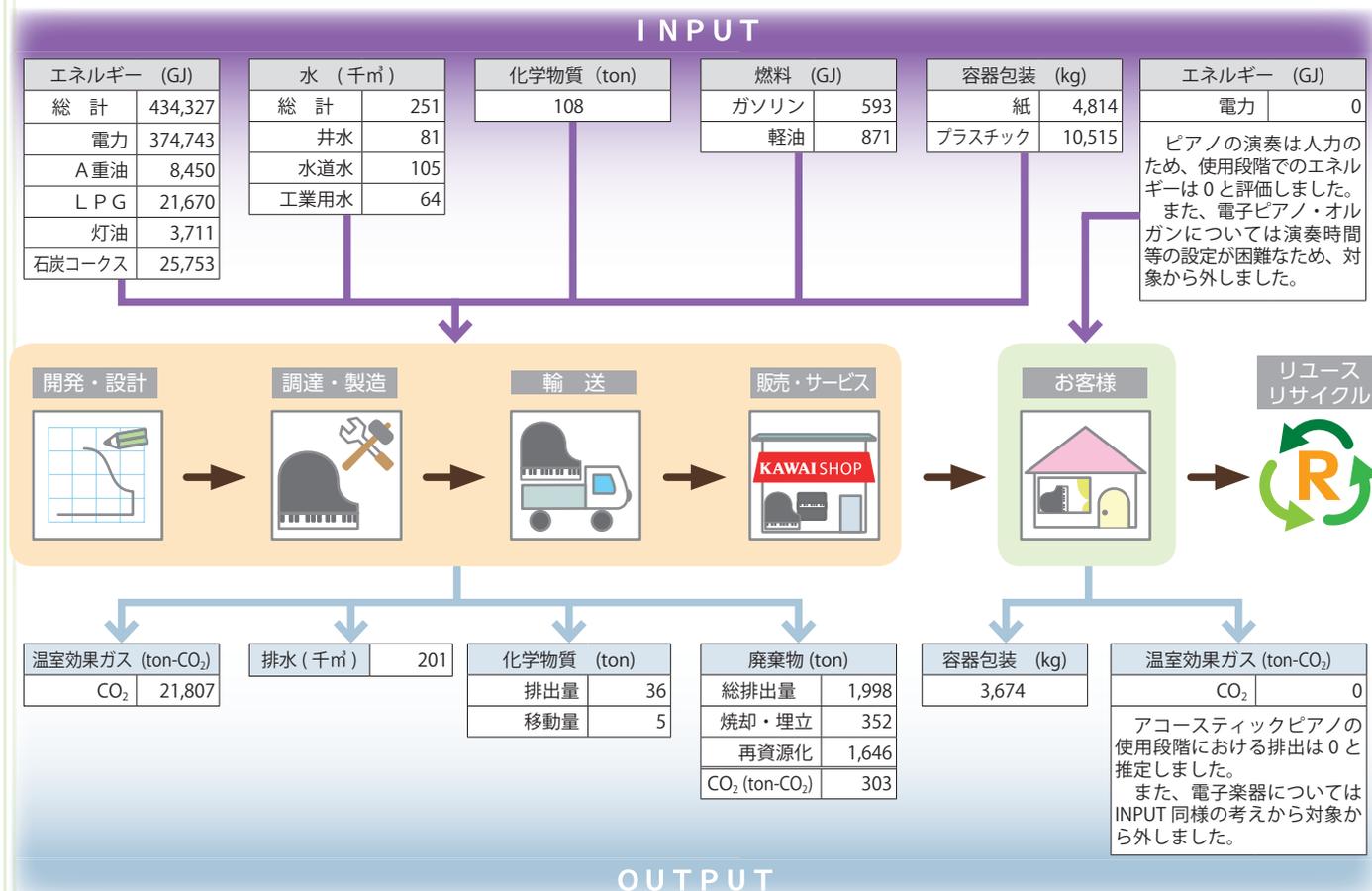
企業活動による環境負荷を数値で把握することが 環境活動の第一歩と考えています

マテリアルバランス

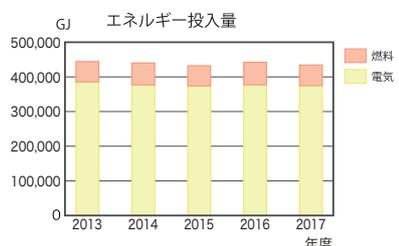
カワイグループでは、事業活動にともなって発生する環境負荷を把握し、その及ぼす影響を軽減するために開発・設計・調達・製造から輸送、さらにお客様が製品を使用・リサイクル・廃棄に至るまでの各段階の資源・エネルギーの使用量やその他の環境負荷についてデータ集計を行なっております。

2017年度におけるエネルギー、化学物質などの投入量とCO₂、排水、化学物質、廃棄物などの排出量は、下記のとおりです。

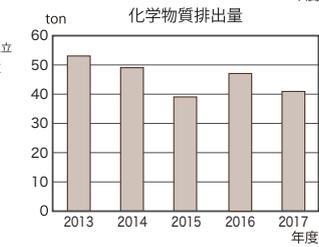
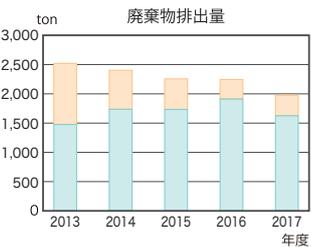
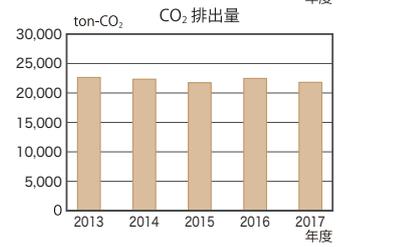
今後、環境負荷の低減に取り組むとともに、データ把握の範囲を拡大し、グローバルなデータ把握をすすめます。



INPUT



OUTPUT



社会性報告

コーポレート・ガバナンス／コンプライアンス

コーポレート・ガバナンス基本方針を制定（2016.6.28 改定）

コーポレート・ガバナンスとは、健全で効率的な会社経営を遂行するための仕組み「企業統治」です。

当社は「経営の理念」に基づき、持続的な成長と、中長期的な企業価値の創出に向けて『コーポレート・ガバナンス基本方針』を制定しました。コーポレート・ガバナンス基本方針は、持続的な企業価値の向上を実現するために継続的に取り組むことが目的で、コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方など、5つの章に定めています。



詳細はWebサイト
<https://www.kawai.co.jp/company/governance/>

コンプライアンスの推進

コンプライアンスとは法令等遵守と訳され、社会の法令や会社内の規程などを守っていくことだけでなく、社会規範を含んだ倫理規範の実践により社会の信頼を得ていく事が必要であると考えられています。

このような事からカワイグループでは全従業員が取り組む、コンプライアンス経営を推進しております。具体的には法令遵守に加え、社会的な規範を包含したカワイ倫理規範、倫理行動規程を制定するとともに、外部有識者(弁護士)を加えた企業倫理委員会を設置しております。

また、企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めております。

内部統制システムに関する基本的な考え方

当社では「経営の理念」および「行動指針」を策定し、業務運営の指針としており、併せて中期計画に掲げた目標の達成に向けて、各組織が予め定められた役割に従い、法令や定款に則って効率的に戦略遂行できる体制構築を目指しています。また、法律問題につきましても、分野ごとに恒常的に複数の法律事務所と顧問契約を締結した上で適法性の確保に努めています。

内部統制システムについては、企業価値向上のためのコーポレート・ガバナンスの一環としてその重要性を認識し、2006年5月12日に取締役会で決議しました「内部統制システムの構築に関する基本方針」に則り、その確立に取り組んでおります。

反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方

反社会的勢力を社会から排除していくことは、治安対策上重要なことであり、企業にとっても社会的責任の観点から必要であり、また、反社会的勢力が従業員を含めた企業自身に多大な被害を生じさせるものであることから、企業防衛の観点からも必要なものであります。このような観点から、当社は反社会的勢力による被害を防止するため、コンプライアンス体制及び内部統制システムの一環としての体制整備に努めております。

河合会長兼社長のコミットメント

私は新時代にむけて新しいカワイを創生させるため、1996年4月に新しい経営の理念を制定いたしました。新しい経営の理念の中で『お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します』『新しい時代に向かって企業活動を推進します』と謳っております。

すなわちお客様の満足度を常に考え、カワイブランドに対する信頼の維持を図り、新時代の社会の要請などに沿った企業活動を推進していくというものです。

2002年10月には社員ひとりひとりが企業社会人として、社会的良識をもって行動するための基本となる「カワイ倫理規範」「倫理行動規程」を制定いたしました。カワイグループの企業倫理の遵守を第一に高い倫理観と常識をもって行動し、「社会からの信頼」に応え、カワイブランドに対する信頼を損なわないようにすることが必要であると認識しております。

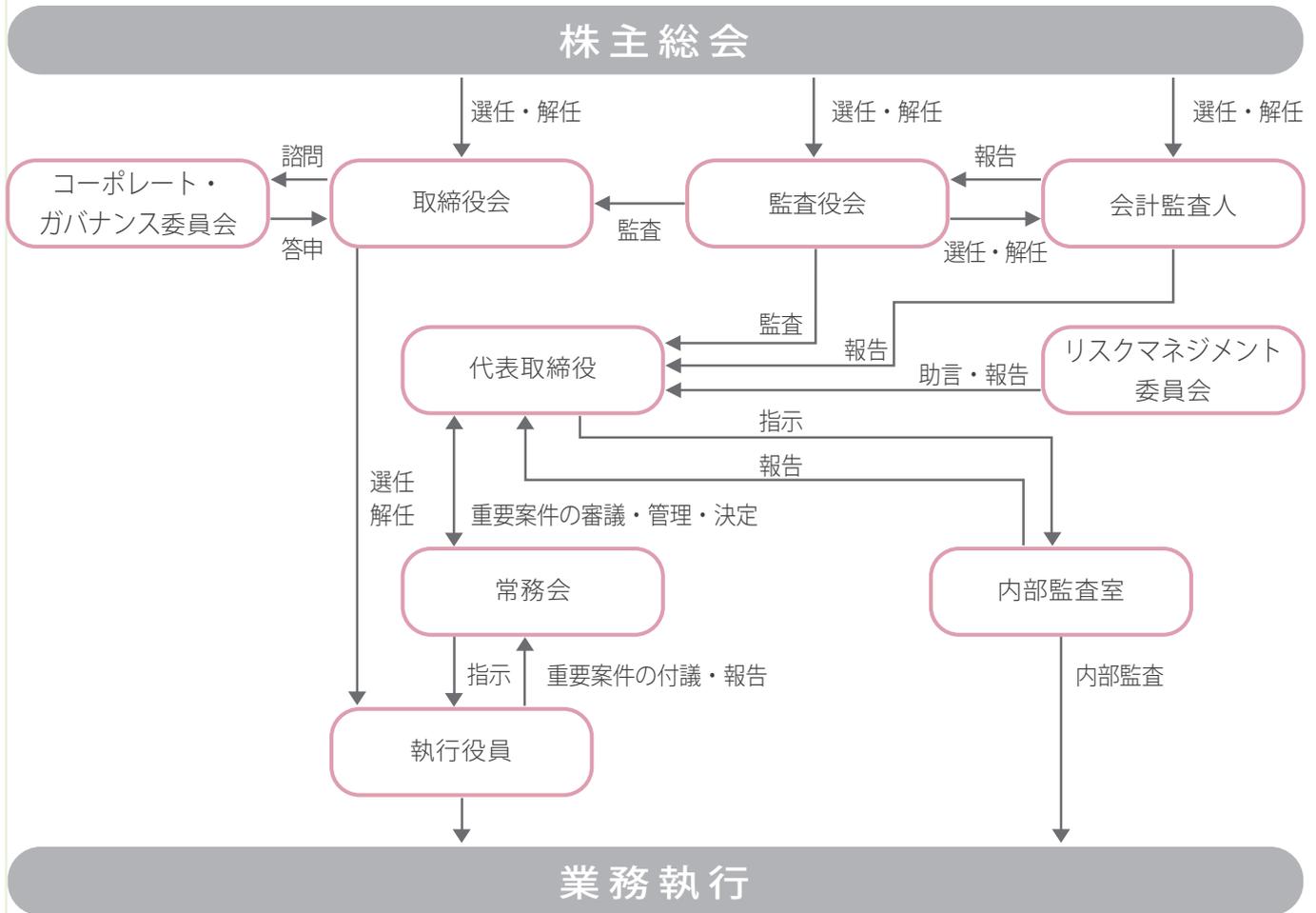
このようなことを踏まえ、私は、今回ここに業務の遂行にあたり、役員以下カワイグループ全社員に率先して当社のもつ社会的責任を自覚し、あらゆる場面において「カワイ倫理規範」を遵守し、「倫理行動規程」の精神に則って行動することを誓います。



代表取締役会長兼社長

河合弘隆

コーポレート・ガバナンス 体制 / 内部統制システム



- ・ 取締役会：社外取締役を含む取締役で構成
- ・ 監査役会：社外監査役を含む監査役で構成
- ・ コーポレート・ガバナンス委員会：取締役の諮問機関として「コーポレート・ガバナンス委員会」を設置し、取締役候補者の選定に関する事項や、取締役の報酬に関する事項、その他 コーポレート・ガバナンスの向上に関し審議し取締役会に答申、報告を行っています。
- ・ 2002年4月より執行役員制度を採用
- ・ 2005年6月より執行役員制度を改編し、取締役にも執行役員を兼務させる体制とし、全社的課題への対応力の強化を図るとともに、業務執行における責任の明確化および指揮命令系統の充実を図りました。また、社外取締役を選任しており、社外取締役には、客観的

な立場から取締役会における意思決定の妥当性及び取締役会の職務執行について大局的な視点で助言、監督をいただき、経営の透明性を高めております。

- ・ 経営会議体として全社的課題を審議するステアリング・コミッティ、戦略課題を全社的見地で審議する全社戦略会議等を設置して戦略モニタリング・コントロール機能を確保しています。
- ・ 内部監査：「内部監査室」を設置し、カワイグループの業務活動全般に関して、業務執行が適法、適正かつ合理的に行われているかどうかを監査するとともに、会社資源の活用状況、法令・社内規程の順守状況についての監査を行っています。

リスク管理体制

当社のリスク管理体制は、業務執行に伴うリスクを未然に防止することを第一とし、リスクが顕在化した場合には、社会的、経営的な影響を最小限にとどめるため、職制により組織的に対応するものから必要に応じグループ全体を対象とした委員会等を設置するなど、機動的な対応に努めております。

リスクマネジメント委員会は、カワイグループ全体のリスクへの対応のために、規程類の整備、運用状況の確認、要員の訓練、研修等を企画実行するとともに全社リスク管理状況を定期的に取り締役に報告しております。

傘下に下記分野別の各委員会を設置するとともに、不測の事態が発生した場合には、「緊急対策本部」をただちに設置し、迅速な対応と損害の拡大の防止にあたるものとしております。

リスクマネジメント委員会

地球環境委員会	企業倫理委員会
<p>カワイグループは1994年に地球環境委員会を設置し、地球環境の保全に積極的に取り組んでいます。地球環境委員会ではカワイ地球環境憲章、カワイ環境方針、グリーン調達ガイドライン、木材調達ガイドライン等を制定。また環境に関する法令の順守はもとより環境保全の目的・目標を定め環境汚染によるリスクの軽減に努めています。</p>	<p>コンプライアンス経営を推進するため、法令遵守に加え社会的な規範をも包含したコンプライアンス要綱（カワイ倫理規範、倫理行動規程を含む）を制定するとともに弁護士等外部有識者を加えた企業倫理委員会を設置しています。また企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めています。</p>
<h3>海外安全対策委員会</h3>	<p>企業倫理委員会・企業倫理ホットラインの流れ</p> <p>結果のフィードバック</p> <p>違法行為等の情報・相談 企業倫理室長 経由 企業倫理委員長 宛</p> <p>非公開</p> <p>郵送文書</p> <p>● 調査の為実名を原則</p> <p>※ 通報者は不利益な扱いを受けません。</p> <p>企業倫理室</p> <p>企業倫理委員会</p> <p>人事担当部門</p> <p>懲戒処分 の検討を要請</p> <p>報告</p> <p>調査チーム</p> <p>調査</p> <p>関係部署 (営業・工場) (部・会社)</p> <p>違法中止の 勧告・命令</p>
<p>海外子会社、海外駐在員並びに海外出張者のリスク管理を行っています。</p>	
<h3>中央防災対策委員会</h3>	
<p>カワイグループにおける火災、風水害、その他の災害の予防対策確立及び災害発生時の被害を最小限に止めるための諸活動を行っています。</p>	
<h3>中央安全衛生委員会</h3>	<h3>製品安全対策委員会</h3>
<p>カワイグループの従業員の安全衛生意識の高揚を図り、災害及び疾病を予防するための諸活動を行っています。</p>	<p>万が一、市場に出た当社の製品に安全上の不具合があり、それが原因でお客様の生命身体に危害が及んだり、その可能性があると思われるときに、お客様への告知、行政機関への報告、製品の回収といった対策を迅速に実行し、お客様への被害を最小限に止める諸活動を行っています。</p>
<h3>情報セキュリティ委員会</h3>	<p>情報資産の機密性、完全性、可用性の確保、維持を全社的な立場で統括管理しています。</p>

みなさまとの関係

文化貢献活動

音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指して、また、日本の音楽文化を育てるため、カワイは、さまざまな音楽活動や文化活動を行っています。人々の心に感動の輪を広げたい。カワイの願いは着実に実を結んでいます。

カワイ音楽振興会

カワイ音楽振興会は日本の音楽文化の向上をめざして、1963年に設立されました。「カワイコンサート」の開催をはじめ、海外著名演奏家や音楽教育家の招聘事業、国内一流音楽家のリサイクル・公開講座など多彩な催しを企画実施しています。

また、音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指し、さまざまな音楽活動や文化活動の支援を行なっています。

これからも、“Music for All” の理念のもと、様々な活動を通じてすべての人々に良質な音楽を提供してまいります。

多彩なコンサートや公開講座情報を掲載している「カワイ音楽振興会サイト」をご参照ください。

<http://kawai-kmf.com/>



カワイコンサート

1971年に日本中の人々に良い音楽をというポリシーのもとスタートしたカワイコンサートは発足以来これまでに2250回をこえる公演を全国各地で行ってきました。国際的なピアニストから新進気鋭の若手演奏家まで多彩な演奏家を招いて、皆様に良い音楽との触れ合いを楽しんでいただいています。

このカワイコンサートの過去から直近の情報につきましては、カワイ音楽振興会サイトをご参照ください。



第4回高松国際ピアノコンクール

香川県高松市のサンポートホール高松を会場として2006年から4年に一度開催されるピアノコンクール。

世界に挑戦する音楽家とのふれあいを通じて国際交流の輪を広げ、香川の音楽文化の発展に貢献しています。第4回目は2018年3月14日～25日まで開催され、カワイフルコンサートグランドピアノ「SK-EX」を弾いたゲルマン・キトキンさん（ロシア）が第4位、アウレリア・ヴィソヴァンさん（ルーマニア）が第5位に入賞しました。



第1回ハルビン国際音楽コンクール

第1回ハルビン国際音楽コンクールが2018年1月12日から26日まで中国黒竜江省ハルビン市で開催されました。コンテストからは、温かな響きと繊細な表現が可能なカワイのフルコンサートグランドピアノ「SK-EX」に人気が集まり、ファイナリスト4名全員がカワイを選びました。



日本ショパン協会への支援

日本ショパン協会は、1960年8月、フレデリック・ショパン生誕150年を記念して設立されました。初代会長は高折宮次先生で、高折先生と交流のあった河合滋社長(当時)が名誉会長となり、事務局を河合楽器製作所内に設置して、その活動をスタートしました。

以後年に数回の演奏会や公開講座の例会、1980年以降5年毎のショパン国際ピアノコンクールへの参加者オーディション、2005年以降は5年毎に日本ショパンピアノコンクール、2010年以降毎年ショパン・フェスティバルin 表参道、などを開催。また、1974年以降、年間最も優れたショパン作品を演奏したピアニストに対し「日本ショパン協会賞」を贈呈するなど、ショパンとその芸術の普及のために活発な活動を行っています。

<http://chopin-society-japan.com/>



クロイツァー記念会への支援

クロイツァー記念会は、ドイツと日本で活躍したレオニード・クロイツァー教授の遺徳をしのぶ門下生および関係者により1962年3月、高折宮次氏を会長に設立されました。日本のピアノ音楽界発展のために尽くすという設立主旨に沿って諸事業を行っています。

1971年より、クロイツァー教授の日本楽界に対する功績を記念して「クロイツァー賞」を制定し、教授が生前教鞭をとった「東京芸術大学」、「国立音楽大学」、及びゆかりの深かった「武蔵野音楽大学」の各大学院ピアノ専攻修了生の中から、特に優れた成績をおさめた人に賞を贈呈しています。

またこの受賞者を対象とした「クロイツァー賞受賞者演奏会」を1976年より毎年開催するほか、ショパン=クロイツァー校訂版楽譜(音楽之友社刊)の出版に協力しております。(現在は、楽譜配信サイト『@ELISE (アット・エリーゼ)』よりダウンロード販売されています。)

<http://kawai-kmf.com/kreutzer/>



日本・ロシア音楽家協会への支援

1984年、日ソ音楽家協会の名で、当時のソ連作曲家同盟議長のティホン・フレンニコフ氏と初代運営委員長故芥川也寸志氏の親交から、両国の音楽作品の交換演奏を中心とする音楽文化交流を目的に発足。その後、ソ連の崩壊により『日本・ロシア音楽家協会』と名称を変更。新生ロシアと旧ソ連邦諸国との新たな交流活動に入りました。

ロシアとの文化交流コンサートを開催するほか、声楽・器楽のコンサートなどを定期開催しています。



日本シマノフスキ協会への支援

日本シマノフスキ協会は、1981年、カール・シマノフスキ生誕100年を記念して設立されました。

シマノフスキがポーランドを代表する作曲家としてショパンと並び称されるには、いくつかの理由がありますが、最大の理由は、彼の後期の作品がポーランドの山岳地帯の古い形の民謡をもとに傑作を生みだしたことによるものです。ポーランド人の民族性、土俗性が表現された深い味わいがあるシマノフスキ作品を日本国内に広める活動を行っています。オーディション形式のフレッシュ・コンサートや、例会としてコンサートや公開講座等を開催しています。

<http://kawai-kmf.com/szymanowski/>



人間の本来のあるべき姿、人間的豊かさの育みを第一に考える カワイの教育事業は各種教室事業や教育者育成事業を展開しています

教育事業

personality & harmony



丸い人、三角の人、いろんな人がいるから楽しい。
みんな同じだったら、きっと世の中はつまらない。

私らしさを大切にしたいから、
あなたらしさも大切にしたい。

一人ひとりに、それぞれの可能性。
丸い人はもっと丸く、三角の人はもっと三角に。

それがカワイ音楽教室。
わたしたちは音楽で個性を伸ばします。

カワイ音楽教室では、
「個」そしてその「表現」を大切にします

カワイ音楽教室では、子どもたちの興味の芽を大切に、素直に表現する感性を育てるため、音楽教室を中心にさまざまな教育活動を展開しています。

1956年(昭和31年)の創立以来「音楽を身につける過程で、個々の持つ様々な能力や可能性が見いだされ、発揮されること」「音楽を学ぶことでこそ得られる人格的なふくよかさや、奥深く幅広い豊かな人格形成を求めること」「技術的な進歩だけに偏らない、真に芸術的な感性と人間的魅力に溢れた新しい日本の文化人を育成すること」等を中心的目標として掲げ、日本中に音楽芸術を愛好する多くの豊かな人々を育ててまいりました。

近年では、東南アジアを中心とした新興国に対して、ピアノ音楽文化の普及を図るべく、直営教室や各地の代理店を通じた音楽教室の展開を図っています。

カワイ音楽教室

personality & harmony

カワイ音楽教室

当社が運営するカワイ音楽教室は、音楽文化の普及を目指して1956年(昭和31年)に第1号教室を開設、以来60年にわたり、音楽教育を通じて多数の音楽愛好者を育成し、現在では日本全国に4,000を超える直営の教室を運営しています。レッスンコースは、1歳児を対象とした「クーちゃんランド」に始まり「おとなのミュージックスクール」まで、年齢やレベルに合わせて多彩なコースが設定されています。



カワイミュージックスクール

personality & harmony

KAWAI MUSIC SCHOOL

中高年の人々の生涯学習や余暇活動に対する関心が年々高まっています。カワイでは、こうした社会ニーズに対応し、ピアノ、フルート、バイオリン、ドラム、ボーカルなど、多岐にわたるコースを運営しています。いずれも自分の好きな曲をその人のレベルに合った内容で受講でき、またレッスンの回数や形式が選択できるなど、個性に合ったレッスンが受けられることから、多くの受講者を集めています。



カワイ英語教室

personality & harmony

カワイ英語教室

カワイ英語教室は、長年にわたる教育現場における経験から独自に開発した「IMA方式」を採用し、音楽やリズム、全身を使ってのゲーム等による、発達した段階にあわせたレッスンや、様々なイベントを通して子どものたくましい想像力や感性を伸ばし、心と体で話せる英会話を習得していきます。子どもの豊かな想像力を刺激し、子ども自身が想像し、推理し、工夫して学んでいくカリキュラムを実践しています。



カワイ絵画造形教室

personality & harmony

カワイ絵画造形教室

カワイ絵画造形教室は、豊富な素材をふんだんに使ったさまざまな造形表現活動を通して、子どもたちが創造力や人間らしい心を育みながら「生きる力」を身につけていくことを目指しています。



「あそび」ながら「創造」する力、表現力が身につきます。

IMA方式: **I**magination 子供の豊かな想像力
Music 英語の音楽性やリズム
Action 全身を使って英語を表現

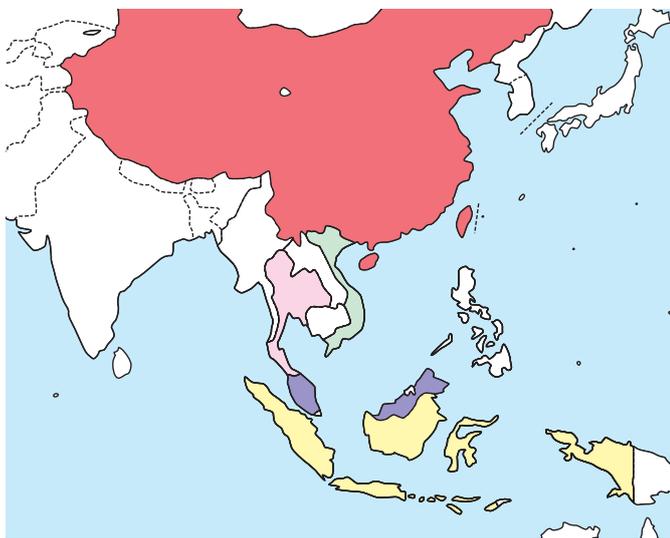
絵画造形教室の特長: 一人ひとりの発達
描きたくなる環境
「先生、あのね」の気持ち

海外における展開



新興国での音楽教育の普及

現地教育者の人材育成を推進し、各国での音楽文化並びに音楽教育の普及に努めています。



ベトナム



マレーシア



中国



タイ



インドネシア



先進国での音楽文化の継承

米国のヒューストンに次いでダラス、ドイツに直営店をオープン。ピアノ文化の継承を図ってまいります。



ダラス



ドイツ

調律技術の継承

中国の調律技術者を対象に、本社にて研修を実施しています。



心とからだのハーモニーをモットーに全年齢層の健康づくりをサポートします

カワイ健康づくりシステム

少子高齢化・人口減少時代を迎え、健康づくりの重要性はますます高まっています。カワイ体育教室開設以来50年のキャリアを持つカワイならではのノウハウを生かし、子どもから、大人、高齢者までそれぞれのステージに合わせた健康づくりをサポートしています。



【体育教室が重要視する3つの要素】

【カワイ体育教室活動の様子】



上のQRコード又は下記URLからご覧いただけます。

URL : <http://www.kawai.jp/physical/course/qr/>

体育コース

子どもの遊びは、からの面、こころの面、知的な面を育てるために大切なものです。しかし近年、遊びの中で知恵を出し合ったり、感情をぶつけ合う機会が減少していると言われる。カワイ体育教室はこのような子どもたちが、のびのびとからだを動かして遊ぶための環境づくりをサポートいたします。



スポーツコース

器械体操・新体操・サッカーなどスポーツの基礎を身につけるコースです。技術だけではなく、ルールを学び、人とのコミュニケーションを学べるコースで一人ひとりの能力や、からの発達と発育を考慮した指導を行っています。



カワイネットシステム

ネットパル

体育教室と家庭をモバイルを使ってリアルタイムに結び「危機管理体制の充実」「運動の習慣化（生徒の日常の運動をサポート）」「家族の健康づくり」を実現します。



介護予防事業の支援

厚生労働省の指針に沿って運動器の機能向上を中心とした高齢者の生活支援を行います。東京都健康長寿医療センターの指定事業者として、介護予防運動指導員養成セミナーを行い、指導者の育成を行っています。カワイは認知機能低下予防に有効なプログラム（音楽・絵画造形）も有しており、すべての高齢者に向けた介護予防事業を展開しています。

カワイの認知症予防プログラム ～運動・音楽・脳げんき～

コミュニケーション

有酸素運動

知的活動

モバイルヘルスアップツール

携帯電話やパソコンの「双方向性機能」「情報処理機能」を使ってウォーキングや健康管理をサポートします。日常の健康づくりを支援しメタボリックシンドロームの改善に最適です。

スポーツコミュニティ

カワイ体育教室はトップアスリートと交流する場を提供する「スポーツコミュニティ」を展開しています。カワイ体育教室では、全年齢の健康を考える『総合健康産業』として、子どもから大人・高齢者までさまざまなステージでの健康づくりに関わっています。これまでは、カワイ体育教室に参加する生徒を対象とした活動が中心でしたが、今後は多くの子どもたちにトップアスリートの生の声や演技を伝えることで運動への興味関心とスポーツへの参加意欲を高め、運動習慣を獲得して生涯スポーツへとつなげる活動を展開していきます。将来的には、公的な施設等にも活動の場を広げ、より多くの子どもたちがトップアスリートと接する機会がもてるよう展開していきます。

カワイ体育教室 スタッフ紹介

チーフアドバイザー

水鳥 寿思 さん

2004年アテネオリンピック体操男子団体総合金メダリストで、2012年5月に現役を引退し、カワイ体育教室のチーフアドバイザーに就任しました。各地区での講話や実技披露など、運動の楽しさを広めるとともに、幼児・児童の体力強化や大人の健康増進に向けた運動プログラムの監修にもあたっています。



新体操クラス チーフインストラクター

川本 ゆかり さん

1992年バルセロナオリンピック出場。2009年よりカワイ体育教室の新体操クラスのチーフインストラクターとして、カリキュラム開発や指導者の育成を担当しています。スポーツコミュニティも担当しています。



「NTT 西日本杯静岡県 U-12 サッカー」で初優勝

2018年2月11日、エコパスタジアムで開催されたこの大会で、カワイ体育教室SCが清水エスパルスU-12清水を4-1で破り初優勝しました。

昨年は同大会で準決勝でホンダと対戦し破れており、決勝であたった清水とは、他の大会でもなかなか勝てなかった相手でしたが、この大会こそはというメンバー全員が強い気持ちで決勝に挑みました。



コミュニケーション

地域社会の発展と環境の向上に役立つ活動を積極的に推進しています

地域社会との共生

工場見学の受け入れ

竜洋工場

竜洋工場では、カワイピアノに親しんでいただくために、地域の小中学生・高校性・大学生その他多くの方々の見学を受け入れています。グランドピアノ組立からピアノが完成するまでの仕上工程をご覧くださいことができます。

見学後、小学生をはじめたくさんのお礼のお手紙をいただきました。「真剣な顔の職人さんを見て、これからも家のピアノをきれいに使いたい。」「1台のピアノができるまでに何人もの職人の手作業がある。」など嬉しい感想をいただいています。

海外から見えるお客様も多く、国内外のピアニストの方々にもご見学いただいています。

〔工場のご見学に関するお問い合わせ〕
竜洋工場 業務室 静岡県磐田市飛平松 252
TEL.0538-66-5111 FAX.0538-66-5919



見学者から届いたお手紙（竜洋工場）

<かぞく参観日 開催>

2017年9月18日 竜洋工場にて「かぞく参観日」を実施しました。

このイベントは次世代法対応への取り組みのひとつとして工場で働く、お父さん、お母さん、お子さんの姿をご家族の皆さんに御覧いただくとともにピアノの歴史や構造、実際の調律の見学、国際コンクール等で使用するSK-EXの響きをミニコンサートで聞いていただき社内外に広くピアノの魅力を発信致しました。



ピアノの構造を熱心に聞くご家族の皆さん

環境美化・保全活動

環境方針に基づいた具体的活動として、敷地内のみならず、事務所周辺の側溝・道路や海岸の清掃活動などを通じて、地域社会へのつながりを大切に、当年度も環境美化保全活動を実施しております。地域の美化・環境保全に全員で継続して取り組んでまいります。



本 社



竜洋工場



カワイ精密金属(株)松本工場



河合楽器(寧波)有限公司



PT.カワイインドネシア



(株)カワイキャスティング



各サイトそれぞれにおいて、地域社会へ参画しています

地域社会との交流

P.T. カワイインドネシア



バレーボール大会

河合楽器（寧波）有限公司



ゲーム大会

カワイ 90 周年祭典



カラワンの中学校の工場見学



野炊(バーベキュー)

(株)カワイハイパーウッド



小学校にスポーツ道具とカバンを送る



緑のカーテンの野菜づくり

竜洋工場



工場のサイクリングチーム



サッカー

資料編

環境負荷サイト別一覧

			参 考		基準年					基準年比
			1990	2013	2014	2015	2016	2017		
電洋工場 静岡県磐田市 (旧舞阪工場を含む) 事業内容：ピアノ製造 敷地面積：168,218㎡	I-NP-T-U	電気	GJ	101,341	58,564	57,599	59,759	57,787	55,627	-6.9%
		燃料	GJ	28,253	16,047	18,352	16,091	17,861	18,032	12.1%
		水	千㎡	3,330.0	38.0	33.5	36.0	35.6	38.1	5.8%
		化学物質	ton		38.6	33.1	38.9	36.8	39.1	0.4%
	O-U-T-P-T-C	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	7,632	3,806	3,590	3,551	3,553	3,462	-2.5%
		化学物質	ton		5.4	5.0	6.3	6.0	6.7	6.5%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	437.3	9.2	6.3	0.2	0.3	0.2	26.6%
		廃棄物 再資源化	ton	102.0	767.0	697.9	767.8	823.2	836.0	8.9%
カワイ精密金属(株)浜松工場 静岡県浜松市北区新都田 事業内容：金属部品製造 敷地面積：26,817㎡	I-NP-T-U	電気	GJ		44,160	53,432	57,647	63,386	68,526	18.9%
		燃料	GJ		7.1	17.8	21.1	21.9	22.7	7.7%
		水	千㎡		26.0	27.1	24.0	28.5	30.0	24.8%
		化学物質	ton		14.2	14.4	1.8	3.0	1.8	0.0%
	O-U-T-P-T-C	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		2,016	2,440	2,632	2,894	3,129	18.9%
		化学物質	ton		13.0	8.1	0.0	3.0	1.1	増加
		廃棄物 焼却・埋立	ton		23.2	30.8	1.4	0.0	0.0	-100.0%
		廃棄物 再資源化	ton		35.2	28.8	56.7	58.3	57.0	0.6%
カワイ精密金属(株)松本工場 長野県松本市 事業内容：金属部品製造 敷地面積：14,612㎡	I-NP-T-U	電気	GJ	57,070	34,838	42,514	42,985	42,748	48,971	13.9%
		燃料	GJ	7,132	4,791	5,270	4,109	5,393	5,473	33.2%
		水	千㎡	42.1	92.4	95.2	73.3	72.3	79.6	8.7%
		化学物質	ton		34.0	37.7	32.9	39.5	33.5	1.9%
	O-U-T-P-T-C	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	3,674	1,909	2,313	2,252	2,333	2,622	16.4%
		化学物質	ton		25.0	27.9	23.7	30.6	28.1	10.2%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	0.0	12.3	13.5	1.6	2.2	2.1	29.5%
		廃棄物 再資源化	ton	61.4	14.8	16.2	11.7	19.4	29.9	155.1%
(株)カワイキャスティング 石川県羽咋市 事業内容：鋳鉄物の製造及び販売 敷地面積：41,000㎡	I-NP-T-U	電気	GJ		65,440	65,816	62,918	70,178	65,776	4.5%
		燃料	GJ		28,348	30,359	29,113	33,656	28,847	-0.9%
		水	千㎡							
		化学物質	ton		17.3	19.7	19.4	22.8	19.5	0.7%
	O-U-T-P-T-C	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		5,915	6,100	5,843	6,634	6,009	2.8%
		化学物質	ton		2.1	1.4	2.0	1.9	1.7	-15.1%
		廃棄物 焼却・埋立	ton		995.3	690.5	518.3	349.7	345.1	-33.4%
		廃棄物 再資源化	ton		523.7	731.8	752.4	854.6	611.9	-18.7%
(株)カワイハイパーウッド 静岡県浜松市東区中部町 事業内容：自動車内装部品製造 敷地面積：15,074㎡	I-NP-T-U	電気	GJ	14,787	15,674	14,759	15,799	15,084	14,134	-10.5%
		燃料	GJ	11	3,319	3,584	3,636	3,595	2,885	-20.7%
		水	千㎡	28.6	6.2	4.4	4.3	3.6	3.0	-30.4%
		化学物質	ton		22.9	21.2	21.0	16.1	13.8	-34.3%
	O-U-T-P-T-C	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	1,250	950	927	979	943	849	-13.2%
		化学物質	ton		0.7	0.6	0.6	0.5	0.4	-29.0%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	218.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		廃棄物 再資源化	ton	32.3	127.1	119.7	131.4	117.6	79.7	-39.3%
(株)カワイ音響システム 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町 事業内容：防音室・音響部材の製造 敷地面積：2,972㎡	I-NP-T-U	電気	GJ		990	958	969	920	871	-10.1%
		燃料	GJ		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		水	千㎡		0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	68.1%
		化学物質	ton							
	O-U-T-P-T-C	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		45	44	44	42	40	-9.5%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton		0.0	0.0	1.7	3.3	0.0	-100.0%
		廃棄物 再資源化	ton		4.6	7.6	7.3	11.4	7.1	-3.0%
本社 静岡県浜松市中区寺島町 事業内容：本社機能、研究開発 敷地面積：6,784㎡	I-NP-T-U	電気	GJ		7,189	5,864	5,651	5,827	6,207	9.8%
		燃料	GJ		641	564	343	26	140	-59.1%
		水	千㎡		4.4	4.5	4.1	3.6	3.6	-11.5%
		化学物質	ton							
	O-U-T-P-T-C	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		374	307	282	267	293	4.0%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton		12.2	4.2	4.4	4.5	4.2	-4.0%
		廃棄物 再資源化	ton		20.9	28.6	22.9	24.1	22.9	0.1%

第三者意見



東京工業大学 環境・社会理工学院 教授
中崎 清彦 先生

本環境社会報告書は、項目ごとに方針（ポリシー）が記述されており、取り組みをわかりやすく伝えるための工夫がなされている。企業概要には売上高、経常利益が示されているが、事業活動が好調に推移していることがわかる。また、次世代を担うピアニストを発掘し、育成することを目的にShigeru Kawai国際ピアノコンクールが創設され、芸術を支える企業としての責任を果たし、同時に企業イメージを高める優れた戦略が展開されている。さらに、教育事業の海外展開では、中国をはじめとする新興国で音楽教室事業を継続し、生徒数は年々増加して、海外の顧客を増やす有効な手立ても講じられている。

なお、CSR活動では、音楽を通じた社会貢献としてチャリティーコンサートの継続、社会性報告として、コーポレートガバナンスが、これまでと同様、強固な体制で取り組まれていることが適正に報告されている。

環境への取り組みに対しては特筆すべきことがいくつかある。一つは、売上高、経常利益が伸びている中、産廃排出量の原単位が大幅に削減されていることである。昨年度は、グループ企業内で生産の仕組みが大きく変わったために、それまでに計画していた削減目標を一時的に満たさなかったが、今年度は、新しい仕組みに適正に対処して2015年度比14%以上もの大幅削減に成功している。これは、取り組みにおけるPDCAサイクルが適正に機能していることを表している。二つ目は、エネルギー使用の合理化のためのエネルギー管理を義務付けている、いわゆる省エネ法の事業者クラス分け評価制度で目標を達成した優良企業としてSクラスの評価を受けたことである。三つ目は、2017年11月に国内のピアノ生産工場である竜洋工場が緑化の推進と地域社会との積極的な交流を評価され、「緑化優良工場等関東経済産業局長賞」という大きな賞を受賞している。2017年度はこれまでの、環境に対する真摯で地道な取り組みが花開いた年ということができる。なお、国内外にわたって植林・植樹活動を継続し、インドネシアでは第二期植林が完成してこれまでのトータルで500ha、約50万本の植林を達成しているのみならず、新たにマングローブ林再生のための植林活動を開始しており、次の新しい取り組みが始まっている。

以上述べたように、環境への取り組みには目覚ましいものがあるが、ピアノや電子楽器の生産では、海外関係会社による生産が大きな割合を占めるようになってきていることから、国内外をトータルで考える必要がでてきている。今後は、海外における活動も含めた環境負荷データの把握に努めて、グローバルな環境負荷低減の取り組みを展開することで、グローバル企業として大きく発展することを期待している。

第三者意見を受けて

昨年度に続き、東京工業大学 環境・社会理工学院 中崎清彦先生より第三者意見を賜ることができました。厚く御礼申し上げます。

その中で、当社の新たな取り組みであります、次世代を担うピアニストの発掘、育成のための Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールについて音楽芸術を支える企業としての責任と意義をご評価いただきました。また、環境の側面については、エネルギー使用や産廃排出に関する環境負荷削減への取組みと成果を、社会的側面に関しては工場緑化やカワイの森育成会の活動、チャリティーコンサートなどの地域への貢献活動をご評価いただき、誠にありがとうございます。

一方、ご指摘いただきましたグローバルな環境負荷低減の取組みの展開につきましては、今後の重要課題と受け止めて今後、積極的に取組みを進めてまいりたいと考えています。

いつも PDCA サイクルを適正に回していくことが重要であるとご指導いただいておりますが、頂いたご意見も踏まえ、今後、CSR 活動を確実に持続発展させ、持続可能な社会への貢献に努めてまいります。

(カワイ地球環境委員会 事務局)

KAWAI
もっと伝えたい、感動を。

株式会社 河合楽器製作所

お問合せ先

カワイ地球環境委員会

事務局：管理本部CS環境室

〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町200番地

TEL= 053-457-1252 FAX= 053-457-1300

URL= <http://www.kawai.co.jp/>

